



# 支援だより



神奈川県立鶴見養護学校  
地域連携グループ  
教育相談チーム（鈴木）  
2023年3月7日発行

3月は今年度の振り返りと新年度へ向けての準備期間です。卒業学年の方は、新たなステージへの準備期間でもありますね。今回の支援だよりでも、今年度の振り返りをしていきたいと思えます。今後の参考にしていただければ嬉しいです。



いつもありがとうございます!!

## \*通学時見守りボランティア 表彰\*

長年、本校生徒の通学の見守りをしてくださっている横浜移動サービス協議会の鈴木眞澄様が、本校の推薦により、鶴見区長、鶴見区社会福祉協議会から表彰されました。

鈴木様は、2011年より12年間、悪天候の日も変わらずに見守り続けてくださっています。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。



【名称】令和4年度社会福祉功労者顕彰

【推薦区分】ボランティア活動

「ガイドボランティアについて」下の記事にも掲載しています。  
横浜市独自の制度で、障害のある方の外出に付き添うボランティア活動  
障害者福祉に関心のある、18歳以上の方が登録し、活動されています

## \*校内の相談について\*

日々の連絡帳からのお問合せや面談等で、担任の先生から教育相談チームへの相談が多いケースを紹介します。



卒業後、地域社会の中で生活していくことを考えて、今から家族以外と出掛ける経験をさせたい。誰か一緒に出掛けてくれる方、いないでしょうか??

登校時に保護者の仕事があり、どうしても都合がつかない…!!学校まで(バスポイントまで)送れない…。どこか対応できるサービスはないでしょうか??

【横浜市】「横浜市 障害福祉のあんない 2022 P50 より」

ヘルパー・ガイドボランティア(上の記事で紹介した鈴木様も活動されています)による外出支援サービスがあります。

各区福祉保健センター(区役所)の担当ケースワーカー、各区社会福祉協議会にお問合せください。

また、各区移動情報センターでは、相談内容に応じて、移動支援制度の説明や、サービス事業者の紹介・コーディネートをしてもらえます。

「移動情報センター」

鶴見区 045-504-5050

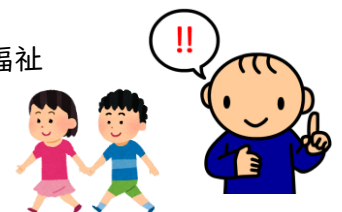
港北区 045-543-1947

神奈川区 045-311-2678

【川崎市】「川崎市 ふれあい障害福祉の案内 P68 参照」

行動援護や移動支援/通学・通所支援サービスがあります。

各区役所地域まもり支援センター(区役所)の担当ケースワーカー、各地区健康福祉ステーションにお問合せください。



\*そのほか、福祉有償運送やタクシーに関するサービスもあります。



放課後等デイサービス事業所を新しく利用したい。  
どんな事業所があるのか知りたい。

学校にある事業所パンフレットのコピーをお渡しすることが可能です。(すべての事業所のパンフレットがあるわけではありません)

また、横浜市・川崎市のホームページにも一覧が掲載されています。

現在たくさんの事業所ができてきており、どこの事業所がどのような活動を行い、どんな方針で運営しているのか等の詳しい内容は把握が難しい状態です。

パンフレットや一覧を元に、ご家庭で各事業所に見学に行ってください、実際の活動内容や場所の雰囲気、利用方法等を確認ください。送迎についても、学校-家庭間で送迎する事業所、送迎なしで自力通所・保護者お迎えの事業所等、それぞれ違います。

子どもたちの実態・ご家庭のニーズに応じた事業所の利用をおすすめしています。



\*現在の制度上、高等部卒業後は放課後等デイサービス事業は利用できません。

## \*校外の相談について「センター的機能」\*

特別支援学校は、地域の特別支援教育のセンターの役割があります。その役割の一環として、近隣の小中学校等への巡回相談や教員向けの研修会等の実施があります。今年度は、全11校から相談を受け、18回訪問しました。また小学校教員を対象に、2件の研修会を実施しました。



### 【相談内容 全18回】

支援級・通常級の子どもたちの学習面・行動面での支援方法等

### 【研修 2件(小学校教員対象)】

「進路について」「学習内容、授業づくり、環境設定、行動への対応について」

→日々の鶴見養護学校での取り組みを元に、巡回相談で支援方法を提案したり、研修の内容を設定したりしています。

小学校	6校	9回
中学校	3校	4回
高等学校	2校	5回
計	11校	18回

## \*書籍紹介\*



発達障害やヤングケアラーなどのテーマについて、医療や教育など、さまざまな角度から解決策を切り出していく作品(漫画)です。現在、ドラマも放送されています。

【作品介绍】(講談社ホームページより)

『リエゾン -こどものこころ診療所-』

「遠野志保は小児科の研修医。遅刻や忘れ物の常習犯だ。見かねた研修担当医から、系列の小さなクリニックに“飛ばされる”。

そこで志保を待ち受けていたのは風変わりな児童精神科医・佐山だった。志保は唐突にある診断を下されて……。大人も子供も生きづらさを抱える現代——。悩める親子に向き合う“児童精神科医”を描く、新たな医療漫画がスタート!!」